

■LinuxMania インストールガイド補足 - SSD 利用時のパーティションについて

LinuxMania ではパフォーマンスの向上、並びに SSD を長くご使用いただけますよう、SSD と HDD のパーティションを以下の通りに設定することを推奨しております。

- SSD : / (root 以下) を割り当て
- HDD: スワップ領域 (※) と /home を割り当て

※スワップ領域は物理メモリの容量×2 を割りてます。

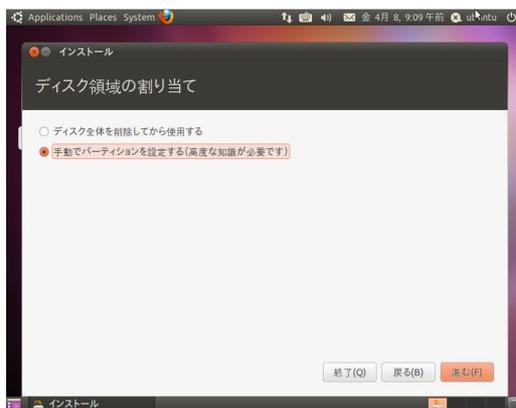
例) SSD 40GB、HDD 1TB、物理メモリ 16GB のパーティション

- SSD : / → 40GB
- HDD : スワップ領域 → 32GB、/home → 968GB

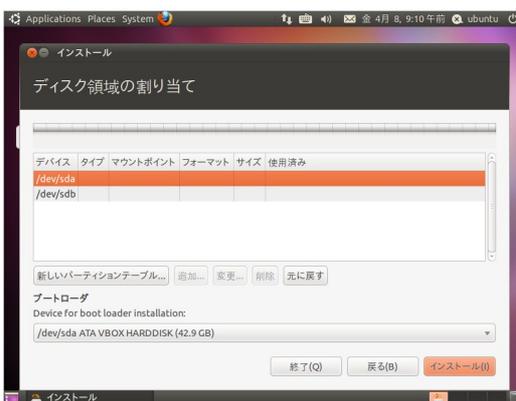
パーティション作成手順をご説明します

<< 軽子坂モデル、行人坂モデル (Ubuntu) のパーティション作成手順 >>

Ubuntu インストールガイド 「5.ディスク領域の割り当て」に代わり、以下の操作を行います。



1. [手動でパーティションを設定する] を選択し、[進む] ボタンを押します。



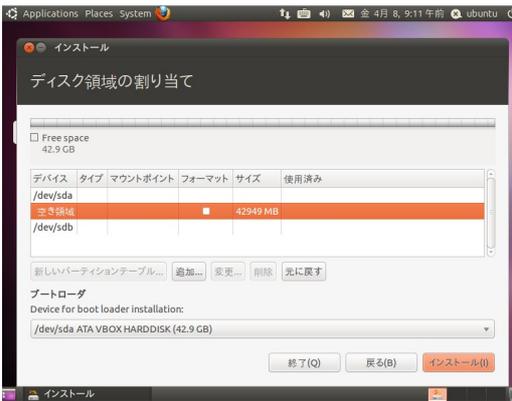
2. /dev/sda (※) を選択し、[新しいパーティションテーブル...] ボタンを押します。

※あらかじめ /dev/sda が SSD、/dev/sdb が HDD となっていることを確認します。確認方法は、画面下ブートローダのドロップダウンボックスにて確認できます。SSD は /dev/sda/(SSD モデル名) で表示されます。

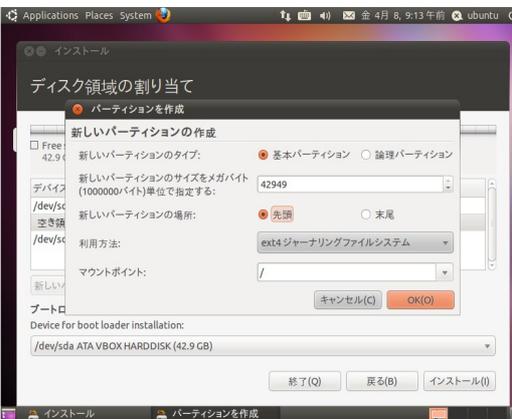
例)
SSD : /dev/sda/ ATA INTEL SSDSA2M040(40GB)
HDD : /dev/sdb/ ATA Hitachi HDS72302(2.0TB)



3. ポップアップが表示されますので、
[続ける] ボタンを押します。



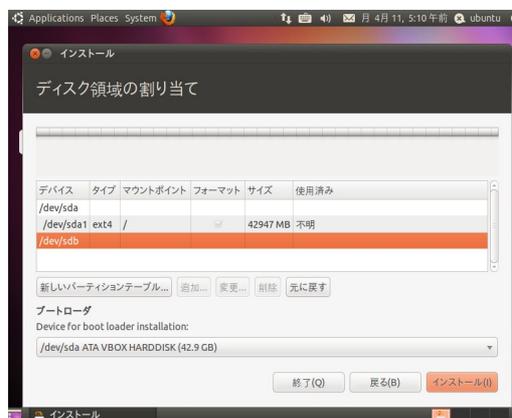
4. /dev/sda の下の空き領域を選択し、
[追加] ボタンを押します。



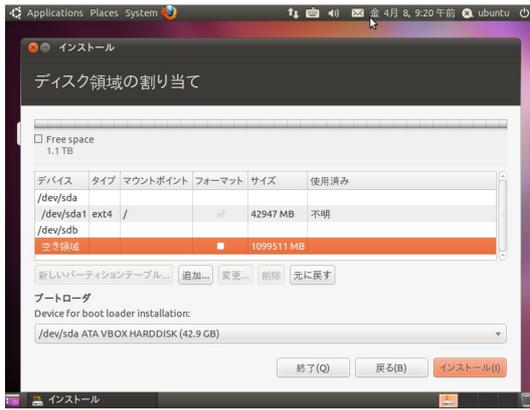
5. 以下の設定で、[OK] ボタンを押します。

- ・新しいパーティションのサイズ：SSDの全容量(※)
- ・新しいパーティションの場所：先頭
- ・利用方法：ext4 ジャーナリングファイルシステム
- ・マウントポイント：/

※ デフォルトの入力値が SSD の全容量です。



6. /dev/sdb を選択し、
[新しいパーティションテーブル...]
ボタンを押します。
ポップアップが表示されますので、
[続ける] ボタンを押します。



7. /dev/sdb の下の空き領域を選択し、[追加]ボタンを押します。

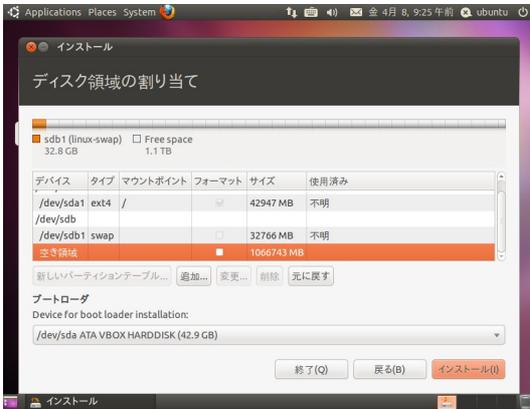


8. 以下の設定で、[OK]ボタンを押します。

- 新しいパーティションのサイズ：物理メモリ x2 の容量(※)
- 新しいパーティションの場所：先頭
- 利用方法：スワップ領域

※ 物理メモリ毎のパーティションサイズ

2GB	→	4000
4GB	→	8000
8GB	→	16000
16GB	→	32000



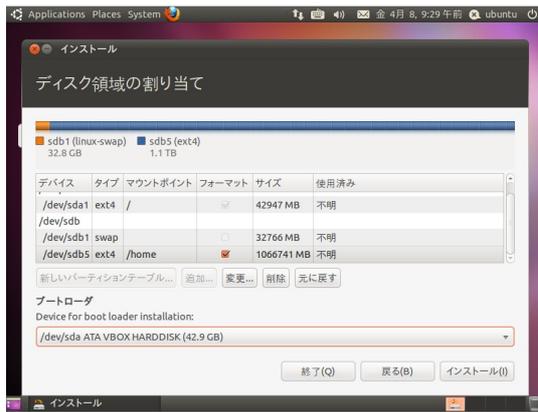
9. /dev/sdb の下の空き領域を選択し、[追加]ボタンを押します。



10. 以下の設定で、[OK]ボタンを押します。

- 新しいパーティションのサイズ：HDD の空容量 (※)
- 新しいパーティションの場所：先頭
- 利用方法：ext4 ジャーナリングファイルシステム
- マウントポイント：/home

※ デフォルトの入力値が HDD の空容量です。



11. ブートローダのドロップダウンリストから /dev/sda/(SSD のモデル名) を選択し、[インストール] ボタンを押します。

以降の操作は、Ubuntu インストールガイド「9. タイムゾーン」からの続きとなります。